

## 花

木野悦

一輪の花をぼんやり眺めている  
花卉の色や葉の形、茎の線  
姿の存在感に圧倒される

理論物理学者が語っていたことを想いだす

植物が生きたために動物 が生まれたのである  
植物に先住権がある

美しさにただ見ている時間  
ふと気づくことがある  
自己の内に止まっていたことが動きだす  
花に導かれて自己のリズムを想いだすのだろうか  
数々の対話に支えられて  
根底から流れていく

花は教えてくれる  
一つの花のように自己のリズムを刻むこと  
おのずと伝わるリズムで在り続けることを